

全国学力・学習状況調査からみる本校 6 学年児童の傾向と改善の方向

本年 4 月 18 日に 6 学年を対象に全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を受けて、本校の傾向と改善の方向についてお知らせします。

この調査の目的は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の結果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する」ことにあります。公表にあたっては、「調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の側面であることなどを踏まえ」た上で、調査結果の分析に基づいた本校の傾向を示し、日々の教育活動や今後の具体的な取組について検討して改善に役立てたいと考えています。

国語 A (主として知識)

平均正答率は、全国比よりやや高く、正答率の分布もほぼ全国と同じような傾向でした。領域別では、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特徴に関する事項」は良い結果が出ており、特に「漢字の読み書き」では多くの児童が、日頃の努力の結果を出しています。「話すこと・聞くこと」「書くこと」にやや課題があり、中でも「書くこと」の ②-二「手紙の構成を理解し、後付けを書く」が比較的全国平均より低い結果が出ています。具体的に見てみると

手紙の末尾 アイウに何が入るかを選択する問題。

正答は、4 番ですが、児童は 2 番、3 番と間違った選択をしていました。検査後も「どれが正解？」と話題にしていました。

「手紙の書き方」の学習は 3 年生の時に学習する内容で、忘れてしまっても仕方がないとも考えられます。

実際に手紙を書いた経験があれば、解答のイのように、下の方に「相手の名前」や「日付」を書くことには抵抗を感じることでしょう。

つまり、選択肢だけで考えると、混乱する問題ですが、問題と選択肢を総合的に考える力があれば、正答を導き出せる問題でした。

以上から考えると、手紙を書くなどの「生活経験の経験値を高めること」と、「ものごとを関連づけて考える力」を付ける必要があるかと考えられます。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよこれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、上ごれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ウ	ア	イ
---	---	---

- | | | |
|---|---|-------|
| 4 | ア | 日付 |
| 3 | ア | 相手の名前 |
| 2 | ア | 日付 |
| 1 | ア | 自分の名前 |
| | イ | 日付 |
| | イ | 相手の名前 |
| | ウ | 自分の名前 |
| | ウ | 相手の名前 |

国語B（主として活用）

平均正答率は、全国比よりやや低いが、正答率の分布もほぼ全国並でした。国語Aと同様に「話すこと・聞くこと」「書くこと」が全国比よりやや低い結果が出ました。特に①―二「話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える」問題が低い結果となっています。今後、「話の構成を工夫して話す」ために「スピーチメモ」を使う、経験を増やしていくことが必要に思われます。

さらにこの問題を別の観点で考えてみると「設問から必要な文を読み取る力」を付けていく必要があります。

①―二の問は「石田さんたちは、グループの話し合いの中で、スピーチメモを使うことについてどのような良さがあると考えていますか？」とあります。（「グループの話し合いの様子」は資料参考）「グループの話し合いの様子」の中で「スピーチメモ」について会話しているのは、5行目からの上野さんと石田さんの会話の部分。ここにスピーチメモの良さ「話のまとめりと順序を意識して話す」「相手の反応を見て話す」という二点が記されています。正答は、このどちらか、または両方を40字以内で解答すれば良いことになります。話し合いの様子から、必要な文を読み取るためには、「相手の話を要点的に聞くこと」「文章、段落の要旨を読み取ること」について、日頃の授業から力を入れて指導していく必要があります。

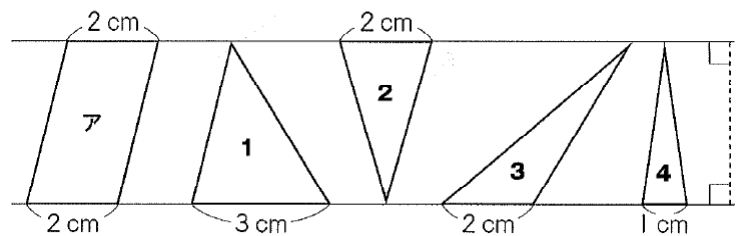
算数A（主として知識）

平均正答率は、全国比よりやや高く、正答率の分布もほぼ全国と同じような傾向でした。領域別では、「量と測定」がやや低く、他の分野はすべて全国平均より高い結果が出ています。

「量と測定」の問題として、右の問題が出されました。児童の解答類型を調べましたが、特徴的な数値の偏りは見られず、原因はわかりませんでした。

「平行線の距離は等しいこと」を定着させるとともに「問題の題意をしっかりと読み取ること」の指導を普段から行っていきたいと思いません。

平行な2本の直線を使って、平行四辺形や三角形をかきました。
下の1から4までの三角形の中で、平行四辺形Aの面積の、半分の面積であるものはどれですか。すべて選んで、その番号を書きましょう。

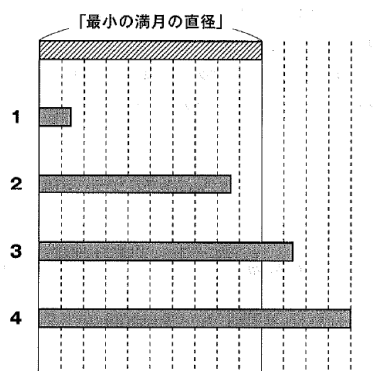


算数B（主として活用）




平均正答率は、全国比よりやや高く、正答率の分布はもほぼ全国と同じような傾向ですが、中央値が高いという結果が出ています。領域別ではどの分野も全国より上回り、日頃の学習が比較的、身につけてきていると考えられます。

面白い結果が出たのは問い⑤の問題。

「最大の満月の直径」が「最初の満月の直径」より14%大きいということから、正しい図を選択する問題。左の棒グラフから正しい図を導き出した児童は約68%。ところが、硬貨にたとえると最小の直径が1円玉だとしたとき、正しい100円玉だと解答した児童が45%に減っている点です。



硬貨の種類とその直径

1円玉	100円玉	500円玉
		
20 mm	22.6 mm	26.5 mm

本校だけの結果ではなく、全国的にも同様な結果が出ている傾向ですが、国語と同様、学習したことを生活経験と結び合わせて考える力が必要になってくると考えられます。学校ではこれまで日常生活と結びつけた教材作りに心がけてきましたが、より一層意識して生活経験と結びつけた指導をしていきたいと思えます。

児童質問紙

質問紙の回答もほぼ全国と同じような特徴が見られます。全国比より高かったものでは、「朝食を毎日食べている」「決まった時刻に寝ている・起きている」があり、きちんとした生活習慣が身につけていることがわかります。また、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか？という設問に対して全員が「当てはまる」「ほぼ当てはまる」と回答している点や「人の役に立つ人になりたい」と考えている児童が全国比より高いということも良い傾向です。

設問数は92もありますので全国比と比べて違いのある設問は他にもありますが、課題として考えるのは、「家で学校の授業の復習をしていますか？」「地域社会でボランティア活動に参加したことがある」という設問に関してです。

「家で宿題をしていますか」という設問に対してはほぼ全員が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しているのですが、「家で学校の授業の復習…」という設問には、半数弱しか、当てはまるという回答がありませんでした。これは、「宿題はしているが、授業の復習をしていない」ということになります。中学に進学するに当たって、授業の復習をすることの大切さを伝えていく必要を感じています。

また、「地域の行事に参加する」と8割上の児童が回答していますが（全国比より高い）、ボランティア活動に関すると全国比より1割ぐらい低い結果でした。ですので、地域で奉仕的な活動がある時には、積極的に参加するように声かけをしていただければと思います。

以上のように、この調査から見える成果や課題をしっかりと受け止め、指導・支援の充実を図り、確かな学力の向上に努めてまいります。また、ご家庭においても生活習慣や学習環境、家庭学習のあり方等について更なる改善に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。

二 石田さんたちは、グループの話し合いの中で、スピーチメモを使うことについてどのようなよさがあると考えていますか。【グループの話し合いの様子】の言葉を使って、四十字以内で書きましょう。

【グループの話し合いの様子】

北川 石田さんのスピーチ、よかったね。

上野 表情がとても明るくて、折り紙のことを伝えたいっていう気持ちが伝わってきたよ。

北川 実物の「つる」を見せているのも、分かりやすかったね。それと、今回スピーチメモを使ってみてどうだったかな。

上野 スピーチメモを使って話のまとまりと順序を意識して話すことはできたかな。

石田 うん、できていたと思うよ。それに、必要なときにだけメモを見ればよかったから、相手の反応を見て話すこともできたと思う。

北川 確かにできていたね。他に気をつけたいことはあるかな。

石田 全体的に早口になっているように思うので、そこを直したいな。

北川 そうだったかな。動画を見てみよう。

（動画を見る）

上野 そうだね。日本語を勉強している外国の人にとっては早口かもしれないね。

北川 それから、石田さんが一番伝えたいことが伝わるかどうかが大事だよな。

石田 私は、折り紙のみりよくを一番伝えたいな。

上野 それなら、折り紙のみりよくをもっとたくさん伝えた方がいいんじゃないかな。

北川 折り紙のみりよくは、どこでも手軽にできることだと思うよ。

上野 ぼくは、紙一枚から立体的な形ができるということがみりよくだと思うな。

北川 「手裏剣」のように、組み合わせで形をつなげられることもみりよくだよな。

石田 折り紙のみりよくはいろいろあるんだね。みんなの意見を参考にして、もう一度考えてみるね。